

2023年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
	総合的な探究の時間	1	3年次	3年次教員			
選択するときの条件							
使用教科書		使用副教材					
科目の目標			道徳教育のねらい				
<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>			<p>自己理解を深め、主体的に目標に向かう意欲と態度を育む。また、他者理解や他者との協働意識を深める中で、価値観の多様化が進む現代社会において主体的に判断し行動する能力を育てる。</p>				
学習活動内容		育てたい6つの力（資質・能力）					
		1	2	3	4	5	6
		主体的学習力	基礎力	思考・分析力	発信・表現力	自己認知・協働力	計画実行力
1	課題研究(後半)	◎	○	◎	◎	○	◎
2	自分の在り方生き方を考える。	○	○			◎	
3	講演会	◎	○				
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断		技能・表現		知識・理解	
	現代社会の課題を多面的に学び、自ら課題を発見し、課題の解決や探究活動に主体的・創造的、協働的に取り組むことができる。	自ら見付けた課題について、調査研究し、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を身に付けている。		課題解決に向けて、情報を調べ活用する能力や他者にわかりやすく伝える能力を身に付けている。		社会と自分との関わりの中、課題解決や探究活動により、自己の在り方生き方を考えることができる。	
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。						
		授業への取り組み	課題への取り組み	グループワーク	自己評価・相互評価	発表内容	作品（レポート等）
	関心・意欲・態度	◎	◎	○	○		
	思考・判断			○		◎	◎
	技能・表現					◎	◎
知識・理解		○			◎	◎	

総合的な探究の時間 授業計画

授 業 計 画					実施状況	
	月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4	自己の在り方生き方を考える。(5)	3年間の総合的な探究の時間の取り組みをはじめとしたこれまでの学びを振り返り、それらをもとに、自己のあり方や生き方について、改めて考えを深める。	・ワークシート作成(3)		
	5	課題研究(後半)(2)		・志望理由書執筆(2)		
		自己の在り方生き方を考える。(1)		・執筆手順確認・執筆(2)		
	6	講演会(3)		・志望理由書清書(1)		
	6 7 8 9	課題研究(後半)(24)		・社会の第一線で活躍する方の講演を聴き、視野を広げ、多様な生き方があることを知る。 ・職業人による専門分野の講義を受け、自分の興味関心を深め将来について考える。		
後 期			・自分が学びたいと考える学問や社会において探求したいと考える事柄、就きたい職業の仕事の内容などをより具体的に調べ考察し、論文に仕上げ、発表する。 ・この活動を通じて、自分の探求していく夢を持ち、進みたい大学・学部や職業をより確信を持って目指す契機とする。	・執筆(13) ・発表資料作成(2) ・クラス発表(6) ・全体発表(3)		